



令和2年6月26日

## 新型コロナウイルス感染症の拡大予防について学ぶ児童向け教材第二弾 『『新しい生活様式』について一緒に考えよう!』を公開

岡山大学 SDGs 推進本部は、一般社団法人知識流動システム研究所（KMS）などと共同で、児童・生徒、さらに中高・大学生や社会人とともに新型コロナウイルスへの理解を深め、感染予防を進めることを目的とした教材「新型コロナウイルス対策『新しい生活様式』について一緒に考えよう!」を企画・開発しました。教材は KMS と岡山大学の HP に掲載しています。

本教材の開発メンバーは、学校や校外学習、さらに日常のさまざまな場面で新型コロナウイルスへの理解を深め、感染予防を着実に進めるとともに、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大という現実課題を通じて生徒が学んでいく視点が重要と考え、4月2日に第一弾の教材を公開しています。この取組は全国各地で報道され、現在までに小学校をはじめ100を超える機関にご活用いただきました。

第二弾の教材では、学校や社会生活をつづけながら、COVID-19 を拡大させない「新しい生活様式」（新型コロナウイルスとともに暮らす『With コロナ時代』）の3要素である、マスク、石鹸での手洗い、距離を取ることを、かわいいイラストとやさしい言葉で伝えています。ぜひ、幅広い機関で、ご活用ください。



### <教材の内容>

「新型コロナウイルスについて、いっしょに考えよう!」

生活様式って何だろう？

新しい生活様式① 手洗いをしよう! ~どうして洗うの?~

新しい生活様式② マスクをしよう! ~どんな効果があるの?~

新しい生活様式③ 体と体の距離をとろう! ~どんなことに気をつけたら良い?~

教材は、一般社団法人知識流動システム研究所（KMS）の下記 Web サイトで公開しています。どなたでもご自由に印刷・転送いただけます。※内容の改変はご遠慮ください。

[https://www.smips.jp/KMS/stop\\_covid-19\\_new/](https://www.smips.jp/KMS/stop_covid-19_new/)



<同開発団体等>

●監修

狩野光伸 岡山大学 SDGs 担当副理事・教授（外務大臣次席科学技術顧問）

森田由子 知識流動システム研究所フェロー、  
日本科学未来館科学コミュニケーション専門主任

●企画・制作

知識流動システム研究所（担当：小泉周 自然科学研究機構特任教授）

小村俊平 岡山大学学長特別補佐、ベネッセ教育総合研究所主席研究員  
長谷川里奈 NPO 法人教育テスト研究センター研究員

<お問い合わせ>

リリースに関すること

岡山大学総務・企画部広報課

（電話番号）086-251-7013

教材活用に関すること

一般社団法人知識流動システム研究所（KMS）



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。